

おおいた 金融広報 だより



No. 7
(2003/11発行)

大分県金融広報委員会 事務局/大分県青少年・男女共同参画課内
☎097-536-1111(内線3044)



平成15年「家計の金融資産に関する世論調査」の結果

金融広報中央委員会から標記調査結果が発表されました。

要旨は以下のとおりです。

〈金融資産の保有状況〉

- ・金融資産保有世帯における金融資産平均額は、1,460万円となり、過去最高額となった。また、中央値*は850万円と前年(833万円)を若干上回った。中央値*…保有額の少ない順(あるいは多い順)に並べたときに中位に位置する世帯の保有額である。
- ・金融商品別にみると、預貯金(郵便貯金を除く)の構成比が最も高く4割強、次いで郵便貯金が2割弱を占めた。

〈金融商品の選択基準〉

- ・金融商品選択の際に最も重視していることは、「元本保証の有無」が引き続き最も多く、次いで、「少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから」、「取扱金融機関が信用できて安心だから」の順となっている。

〈取引金融機関の経営内容〉

- ・自ら取引している民間金融機関の経営内容に対する受け止め方については、「経営破綻の不安はないと思っている」との回答が約6割となった一方、「経営破綻もあるのではと、不安に思っている」との回答が約3割となった。
- ・経営内容の確認については、「確認したことがある」とする世帯が1割弱、「確認したいが、確認していない」とする世帯が約6割を占めている。

〈老後の生活への心配〉

- ・老後の生活について「心配である」としている世帯が8割強となった。その理由について「十分な貯蓄がないから」、「年金や保険が十分ではないから」を挙げる割合が高く、7割を超えている。

*詳細は金融広報中央委員会のホームページに掲載されています。

<http://www.saveinfo.or.jp/>

老後の生活設計

金融広報アドバイザー／平 智恵子

現在、生活を取りまく社会環境の変化は激しく、なかでも高齢社会と少子化は重要な問題になっていることは、まぎれもない事実です。

日本は世界一の長寿国で、その平均寿命は男性が78.07才、女性が84.93才です。このように長くなった生涯を充実するには、賢い生活者・賢い消費者になることが肝要です。

これから先、どのように生きていくかを決めるのが生活設計です。

〈老後の生活設計の3本柱〉

1. 健康（身体）
2. 経済（お金）
3. 生き甲斐（心）

以上の要素を自己責任において、バランスよく実現することが大切です。
なかでも経済（お金）は不可欠です。

〈老後の生活資金を賢く使うには〉

1. 生活設計資金の3文法

- ①使うお金（生活資金）→生活費、余暇、健康管理等
- ②備えるお金（予備資金）→病気、けが、介護費用、マイホームの増築等
- ③残すお金（余裕資金）→葬儀代、子供・孫への遺産、相続税、寄付等

2. お金と上手につき合うための7つのポイント

- ①将来の生活設計（ライフプラン）を考える
- ②家族全員の金銭教育の実施
- ③家計のやりくり（節約と工夫）
- ④貯蓄の法則（収入－貯蓄＝支出）
- ⑤自分の財産は自分で守る
- ⑥情報収集はこまめに
- ⑦良きアドバイザーを上手に利用

3. 投資する時の留意事項

- ①流行に左右されない
- ②良い（うまい）話には裏がある
- ③金融機関も選ぶ時代
- ④上手な投資を
- ⑤賢くお金を使う



現在の生活をじっくり見直し、充実した楽しい老後の生活を自己責任において実現しましょう!!



金融広報アドバイザー講師派遣!!



大分県金融広報委員会では、「金融経済の情報提供」、「金融経済学習の支援」を2本柱とする活動を通じ、中立・公正な立場から健全で合理的な家計運営のお手伝いをするため、講演会等の講師として金融広報アドバイザーを**無料で派遣**しています。

1. 対象となる団体

公民館、小・中・高等学校、PTA関係、婦人会、老人クラブ、子供会等

2. 対象となる講演等

講演会、学習会、学校への出前講座、PTA研修会等

3. 対象となる講演等の受講者数

比較的少人数でも可能（ご相談ください）

4. 講演等のテーマ例

- ・預金保険制度（しくみ、役割）
- ・金融商品販売法（金融を巡るトラブルの発生防止等）
- ・金融商品（種類、選び方等）
- ・年金（基礎知識等）
- ・生命保険（内容の確認、見直しの仕方等）
- ・税金（税制改正、相続税、贈与税等）
- ・くらしと金融（金融のしくみ、生活設計の重要性等）
- ・生活設計
（生活設計について、老後の生活設計、家計簿記帳の仕方、
わが家の生活設計表、生活夢プラン等）
- ・悪質商法（手口、クーリング・オフ、消費者契約法等）
- ・介護保険制度（基礎知識等）
- ・多重債務（陥らないための注意点、対処法等）
- ・こどもとお金（お金の役割や契約・カードなどに関する基礎知識等）

5. 実施時間

1時間30分から2時間を目安（質疑応答含む）

（注）個々人の利害得失に関わる個別、具体的な相談には応じられません。

*申し込み等は、事務局までご連絡ください。





「金融と経済の明日」第1回高校生小論文コンクール入賞者

金融広報中央委員会と読売新聞社との共催により、標記コンクールが実施されました。応募総数211点の中から、大分県立別府鶴見丘高等学校3年の智葉幸翼さんが秀作に選ばれました。

*特選・秀作の全作品は、金融広報中央委員会のホームページで、ご覧いただけます。

<http://www.saveinfo.or.jp/>



金融学習グループ募集

暮らしに身近な金融経済知識や生活設計等を自主的に学ぶための市民グループです。

学習会には、講師として金融広報アドバイザーを派遣します。あなたも豊かな暮らしづくりのため、気の合った仲間同士と一緒に学習してみませんか。

学習内容(例):生活設計の必要性、家計簿記帳、金融商品、年金、税金、保険、老後の備え、

多重債務、日本銀行大分支店見学、老人保健施設見学等

設定期間:平成16年4月1日~平成19年3月31日(3年間)

*学習活動に必要な経費の一部を補助します。



広報資料、ビデオの紹介



○「これであなたもひとり立ち」 自立のためのWORKBOOK

高校生をはじめとする若い世代の方がひとり立ちのために必要な経済生活上の基礎知識を身につけるための教材。生活を支える経済基盤の確認、預金口座の開設、クレジットカードやインターネット取引の安全な利用のための基礎知識等を実践的なワークの中で楽しみながら身につけることができる。



○「謎解！若者の経世済民」 **ビデオ** (中・高生向け、約74分)

謎の言葉「経世済民」を解き明かすため、高校生が冒険の旅にでた。アパレルメーカーやおもちゃメーカーの企業体験などを通し、金融や経済のしくみに迫る新感覚マネー教育プログラム。



○「ボクの犬小屋日記」 **ビデオ** (小学生向け、約20分)

ものやお金の大切さ、働くことの大変さ、お金の代え難い人の心のあたたかさなどを少年と犬との出会いを通して描かれている。



*ご希望の方は事務局までご連絡ください。(資料無料、ビデオ無料貸出)
TEL:097-536-1111(内線3044)